

和歌山県の財政状況

市場公募債 I R 資料



Wakayama Prefecture

目次

1. 和歌山県の概要
2. これからの和歌山県
3. 和歌山県の財政状況
4. 市場公募債発行計画

和歌山県の概要

1

和歌山県の概要



(和歌山県の
位置図)



面積

4,725km²

人口 ※R2.10.1現在(令和2年国勢調査)

923千人

県内総生産(名目) ※令和2年度県民経済計算

36,251億円

和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

- 和歌山県は、恵まれた風土を活かした観光資源が豊富です。
- 自然、文化、食など、それぞれのエリアの特性に応じた魅力があります。

和歌山市近郊エリア

大阪に近い和歌山市は、江戸時代の史跡や日本らしい名勝地を楽しめます。海の幸や和歌山グルメも人気です。



有田・日高エリア

県央に位置して、海と山の恵みを受ける風光明媚な土地です。特産品のみかんやクエなどの食も満喫できます。



白浜・串本エリア

関西を代表するマリンスポーツです。レジャーのほかに、太平洋の偉大さを感じる絶景スポットも楽しめます。



高野山エリア

真言宗の総本山「高野山」エリアは、豊かな自然と荘厳な寺院が共存する厳かな雰囲気が漂います。



熊野エリア

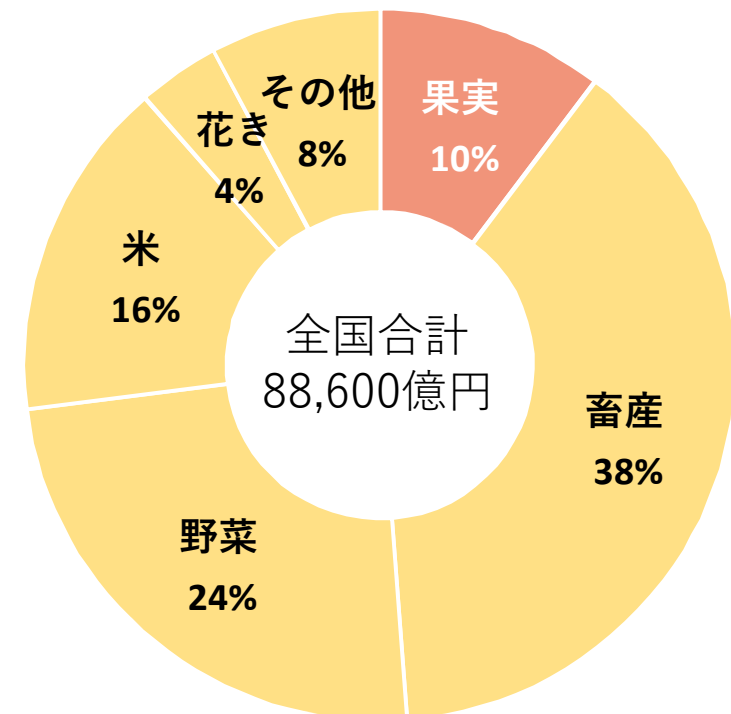
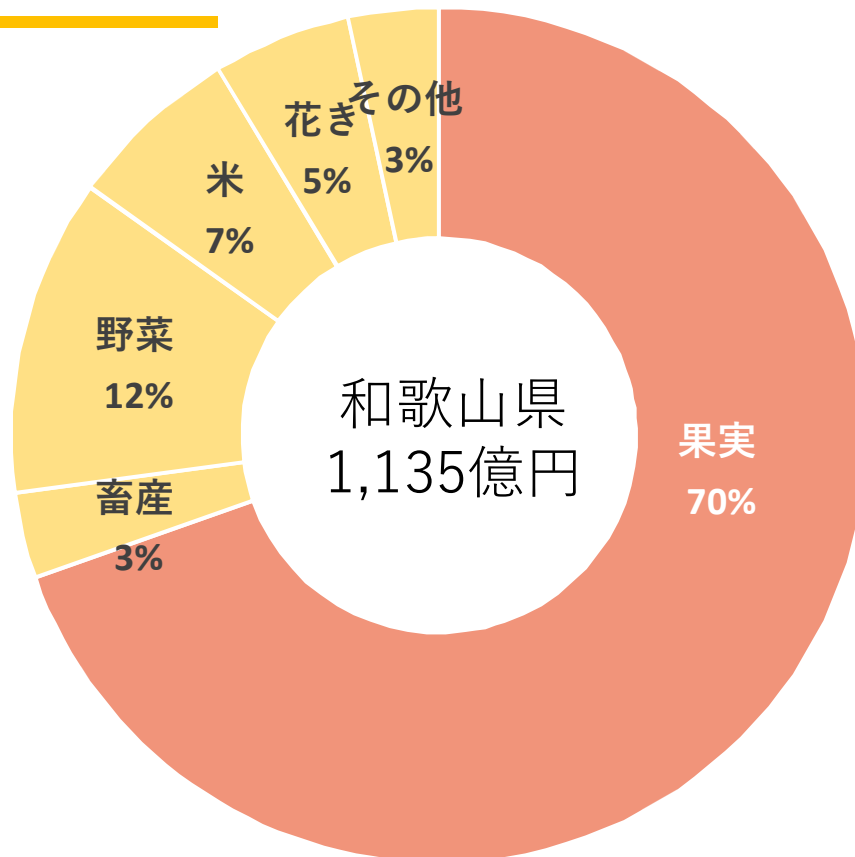
大自然のパワーあふれる「世界遺産」と「熊野三山」を含み、歴史ある温泉も名物のひとつです。



和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

- 本県では、恵まれた自然条件を活かした農林水産業が盛んです。
- 農業においては、果実の構成比が農業産出額の70%を占めており、全国に比べて特異な構成となっています。
- このため、和歌山県は「果樹王国」とも言われています。

農業産出額



果樹収穫量の全国シェア

以下は全て**全国第1位**



22.4% (152,500 t)

※令和4年産作物統計

みかん



71.4% (18,367 t)

※令和2年産特産果樹生産動態等調査

はっさく



66.7% (64,400 t)

※令和4年産作物統計

うめ



71.3% (320 t)

※令和2年産特産果樹生産動態等調査

山椒



19.4% (42,000 t)

※令和4年産作物統計

かき



19.0% (2,038 t)

※令和2年産特産果樹生産動態等調査

いちじく



これからの和歌山県

2

- 本県は、2017年に、10年後の未来を展望しためざす将来像と、その実現に向けて取り組む基本的な方向を定めた「和歌山県長期総合計画」を策定しました。
- 本計画がめざす将来像として、ひと、しごと、いのち、暮らし、地域の5つの施策体系で将来像に向けた取組を進めています。

和歌山県 長期総合計画 2017年度 → 2026年度

めざす将来像



将来像に向けた取組 (新たな施策体系)



未来を拓くひとを育む和歌山

子育て施策をより一層充実することで、県民みんなが子どもを産み育てやすいと感じ、子どもたちが将来の夢や目標の実現に必要な資質・能力を身につけるとともに、県民みんながそれぞれのライフスタイルに応じて楽しく元気に活躍し、故郷への愛着と誇りをもち続けている和歌山をめざします。



たくましい産業を創造する和歌山

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに対応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだす和歌山をめざします。



安全・安心で、尊い命を守る和歌山

地震・津波・風水害などの災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられ、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざします。



暮らしやすさを高める和歌山

良好な生活環境を保ち、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や省エネルギー、再生可能エネルギー利用を進めるとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子どもたちが育った環境に左右されることなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざします。



魅力のある地域を創造する和歌山

人口減少等が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進します。また、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地域づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げるなど、魅力的な地域を創造する和歌山をめざします。

■ 「弘法大師空海御誕生1250年(R5)」や「世界遺産登録20周年(R6)」、「大阪・関西万博(R7)」等、3年間続くビッグイベントに向け、国内外からの誘客に取り組み、ポストコロナを見据えた持続可能な観光成長戦略を推進しています。

キャッチコピー

聖地リゾート！ 和歌山

※コンセプト

三つの「S」が揃う和歌山は、古くから神々の棲む聖地だけでなく、豊かな自然に育まれた文化・歴史、温泉、食、アミューズメントといった様々な聖地をうみ出し、併せて全ての人々を寛容に迎え入れ、訪れた人々の心や体を癒してくれるリゾート地として親しまれてきました。

日本人の聖地であり、リゾート地でもある旅のふるさと「和歌山」のすばらしさを実感していただけるよう、全国のお客様に向け「聖地リゾート！ 和歌山」の魅力を提案します。

ロゴマーク

知らないオドロキが色々色々



弘法大師空海誕生1250年記念事業

* 日本の伝統芸能による特別イベント、3霊跡（善通寺・東寺・高野山）巡礼企画



世界遺産登録20周年に向けた取組

* 令和の熊野詣の展開（出立式イベント・熊野古道リレーウォーク）、熊野古道白装束プロジェクトの実施、20周年に向けた機運醸成



大阪・関西万博に向けた取組

* 国内外へのプロモーション活動、外国クルーズ船・チャーター便の誘致強化



- 地域資源である再生可能エネルギーを活用し、蓄電や水素利用などの新しい技術も取り入れた、低炭素で強靱かつ柔軟なエネルギー供給を可能とする自立分散型のエネルギー社会を推進します。
- 気候変動を踏まえた地域の新たな特産物の産出や、自然災害に強靱な地域づくりなど、適応の取組を契機とした地域社会・経済の健全な発展につながるよう努めます。

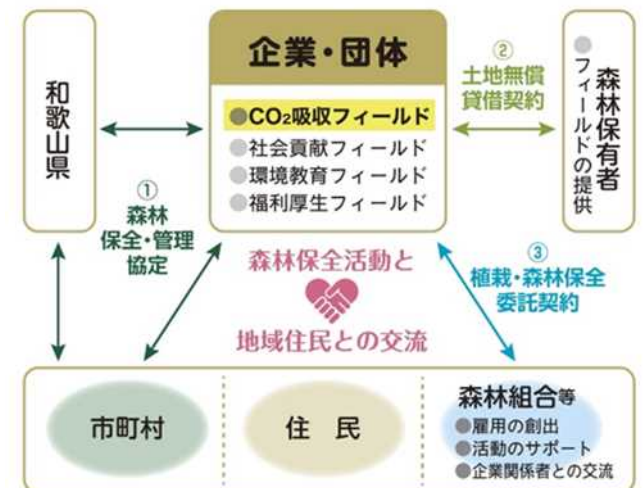
県有施設等の脱炭素化推進

本県の温室効果ガス排出量削減目標達成に向け、PPA（太陽光発電設備の無償設置を行う発電事業者から電力を購入する契約形態）を活用した県有施設への太陽光発電設備設置や公用車への電動車導入を推進していきます。



「企業の森」推進

本県では、企業・団体の皆様の支援により手入れの行き届かない森林の整備を進める「企業の森」事業を、全国先駆け2002年（平成14年）から県独自の仕組みで実施しています。これまで2023年（令和5年）9月末現在、107箇所（93企業・団体）で森を育てています。



- 企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進しています。

地域をつなぐ道路網の整備

①万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

- ▶ すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶ 印南IC～南紀田辺IC間の4車線化など

②県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

③都市内道路及び基本的な生活に不可欠な道路の整備推進

④高規格道路の早期事業化

- ▶ 和歌山環状北道路、京奈和関空連絡道路



災害に備えた道路網の強靱化

①緊急輸送道路等の通行確保

- ▶ 地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

②橋梁等の老朽化対策

- ▶ 定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策



落橋防止の設置



コンクリートの剥離(橋脚)の補修

取組事例のご紹介④ ～魅力ある産業づくり～

- 意欲ある農業者による経営規模拡大や協業化の取組をソフト・ハード両面で重点的に支援することで、生産性の向上を図り、本県の農業産出額の維持・拡大を目指しています。
- 県内事業者への段階に応じた一貫支援を展開することで 競争力を強化していきます。

農業の経営発展・生産力強化

① Webを活用した販路の拡大

- ▶ 食の魅力を発信し、様々な県産品が購入可能なポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の開設
- ▶ 初めてeコマースに取り組む事業者を対象に専門家派遣やセミナーを開催
- ▶ Web用販売促進ツール等の作成を支援

② 海外販路の開拓・拡大

- ▶ 海外見本市への出展及び県産食品プロモーションの実施
(展開先の国)香港、台湾、シンガポール、ベトナム、フランス、米国など

③ 農林水産業のスマート化の推進

- ▶ ロボットやICTなどの先端技術を導入



県内事業者が展開するE Cサイトを集約
購買意欲を高めるコンテンツによる情報発信
バイヤー向けページで県内事業者の商品を提案

和歌山産業の競争力強化

① 起業家によるスタートアップ支援

- ▶ 「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、アントレプレナーシップを持つ起業家を成功した起業家が育成・支援

② 先駆的産業技術研究開発支援

- ▶ ロボット、バイオ等の先駆的産業分野での技術開発支援



那智の滝（那智勝浦町）



写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県の財政状況

3

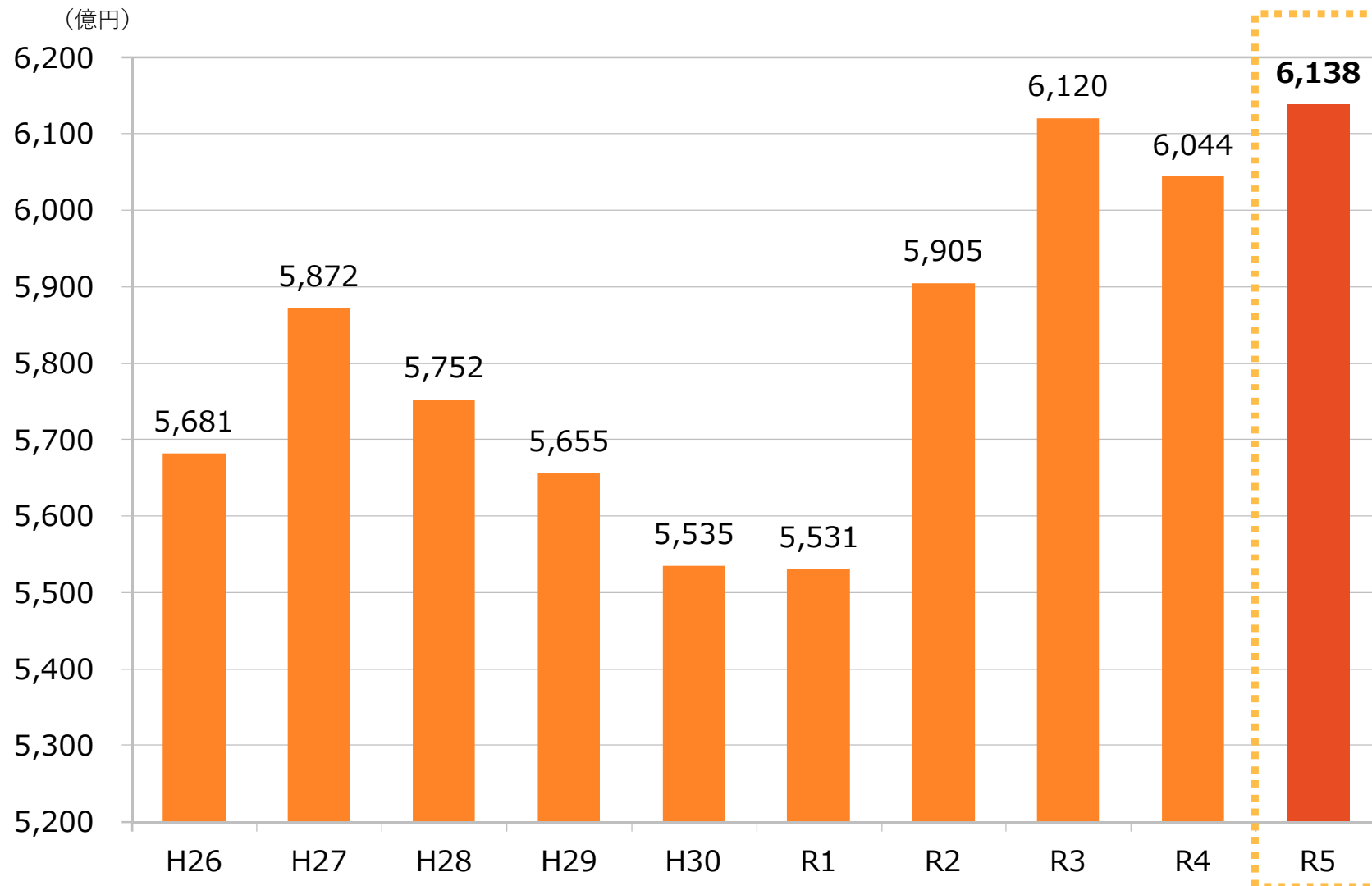
令和5年度の重点施策

- 農林水産業や観光など産業の振興、子供を育む環境づくり等を柱として、未来に繋がる施策を推進します。
- 多様な人材が参加するプラットフォームを設置し、知恵と力を合わせて和歌山県の活性化に取り組みます。

1. 産業の振興	農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の経営発展・生産力強化 ● 水産資源の回復 ● 林業・木材産業の生産基盤強化 ● 販路開拓、スマート化、担い手確保
	観光産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪・関西万博、世界遺産を生かした観光誘客 ● ワケーション推進 ● クルーズ客船誘致
	最先端産業の振興と企業の成長支援・誘致推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 宇宙関連産業・蓄電池関連産業の集積 ● ロケット発射場周辺地域活性化 ● 産業DX推進 ● 企業誘致
2. 子供を育む環境づくり	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠・子育て等の相談及び経済的支援、保育料の無償化、待機児童解消対策 ● 地域で育む環境づくり
	教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門性を伸ばす教育の充実 ● いじめ、不登校対策 ● きのくに学力向上総合戦略
3. 脱炭素社会の実現に向けた取組	カーボンニュートラルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の脱炭素化支援 ● 適切な森林整備の推進 ● 県有施設等の脱炭素化 ● 林業・木材産業の生産基盤強化(再掲)
4. 活力あふれる地域づくり	インフラの整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路ネットワーク、港湾、空港の整備 ● 南紀白浜空港活性化、クルーズ客船誘致(再掲) ● 企業用地開発 ● 地域生活交通の維持・確保
	賑わいのある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● わかやま移住定住総合戦略 ● 紀伊風土記の丘再編整備 ● まちの賑わい空間創出
5. 安全・安心に暮らせる社会づくり	防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 『災害による犠牲者ゼロ』の実現 ● 大規模災害時における災害対処能力の強化 ● 防災DX推進
	医療・福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症対策 ● 児童虐待やヤングケアラーへの対応 ● 介護・障害福祉サービス施設整備 ● 地域医療を支える医師確保 ● 健康づくり推進 ● 介護人材確保

令和5年度当初予算の概要

- 令和5年度の一般会計予算の規模は、6,138億円（対前年度+94億円、+1.6%）となっています。
- 過去10年で最大の規模となりました。



令和5年度当初予算（歳入）の概要

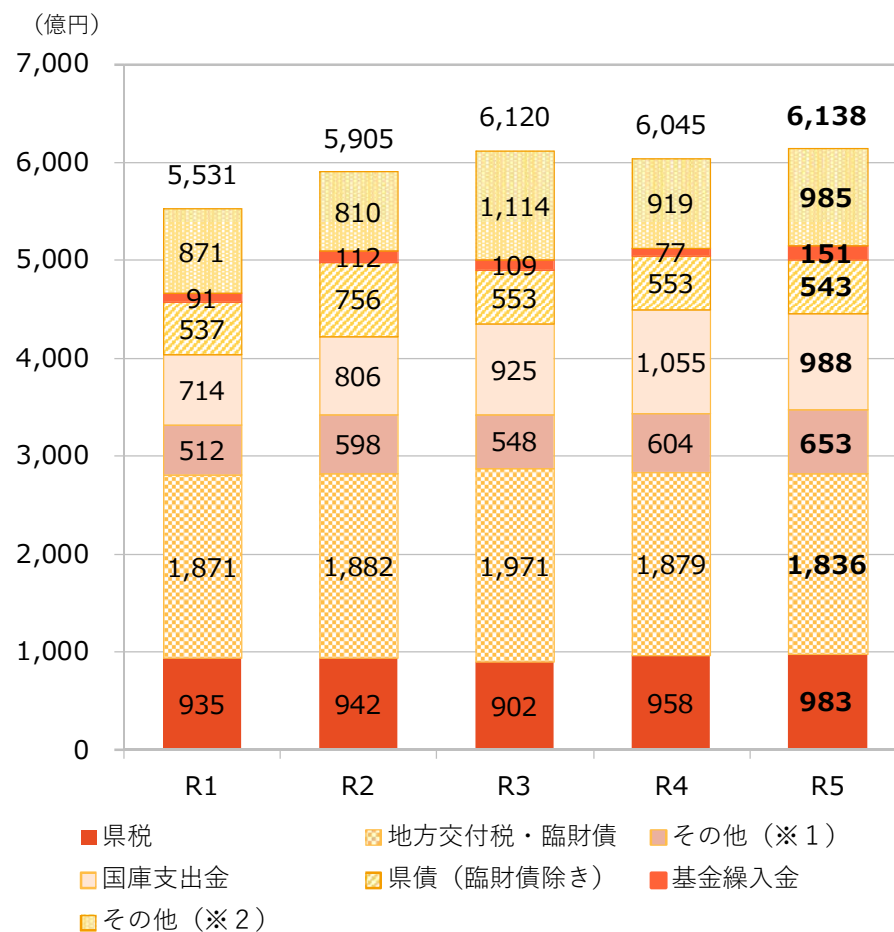
■ 県税収入は増加する見込みである一方、実質的な地方交付税（地方交付税・臨時財政対策債）は減少を見込んでおり、一般財源総額は前年度と同水準となりました。

		R 4 当初	R 5 当初	増減額	増減率
一般財源	県税	958億円	983億円	25億円	2.6%
	地方交付税	1,789億円	1,796億円	7億円	0.4%
	臨時財政対策債	90億円	40億円	▲ 50億円	▲ 55.6%
	その他（※1）	604億円	653億円	49億円	8.1%
	小計	3,441億円	3,472億円	31億円	0.9%
国庫支出金		1,055億円	988億円	▲ 68億円	▲ 6.4%
県債（臨財債除き）		553億円	543億円	▲ 10億円	▲ 1.8%
基金繰入金		77億円	151億円	75億円	97.9%
その他（※2）		919億円	985億円	66億円	7.2%
歳入合計		6,044億円	6,138億円	94億円	1.6%

※1： 地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金

※2： 交通安全対策交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など

項目別歳入の推移（当初予算ベース）



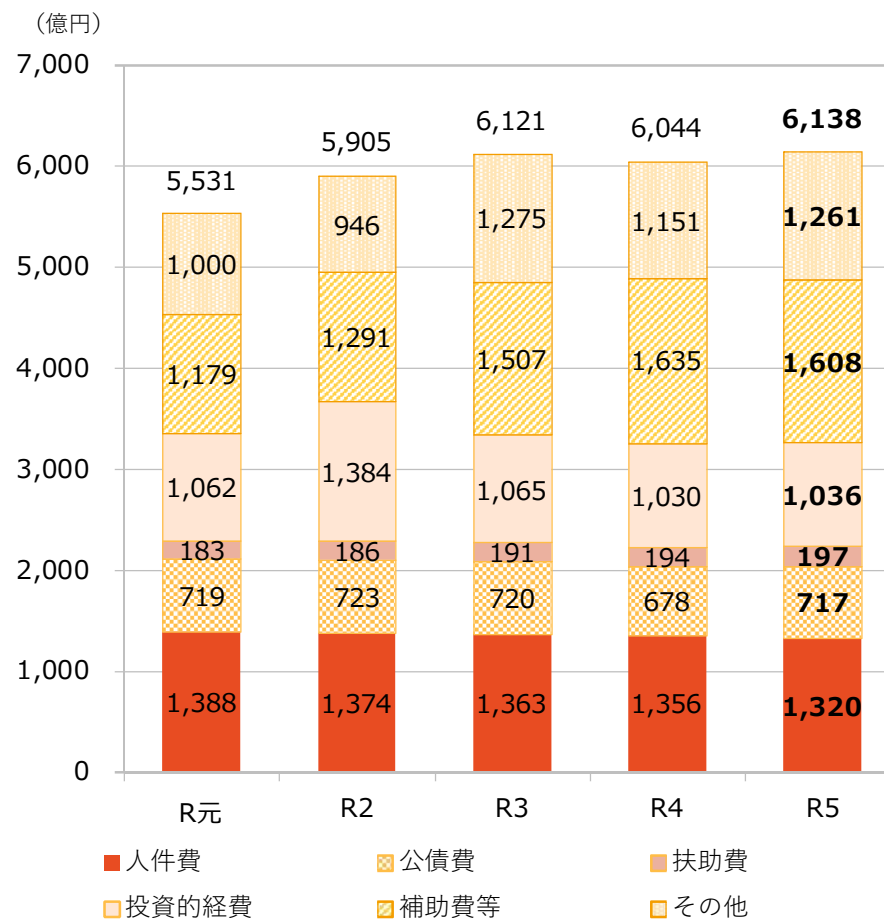
令和5年度当初予算（歳出）の概要

■ 新型コロナウイルス感染症対策予算として294億円を計上したほか、物価高騰局面にありながらも社会保障関係経費をはじめ、県行政の推進に必要な予算を確保しました。

		R 4 当初	R 5 当初	増減額	増減率
義務的経費	人件費	1,356億円	1,320億円	▲ 37億円	▲ 2.7%
	公債費	678億円	717億円	39億円	5.8%
	扶助費	194億円	197億円	3億円	1.5%
	小計	2,228億円	2,234億円	6億円	0.3%
投資的経費		1,030億円	1,036億円	6億円	0.6%
補助費等		1,635億円	1,608億円	▲ 27億円	▲ 1.7%
その他（※）		1,151億円	1,261億円	110億円	9.5%
歳出合計		6,044億円	6,138億円	94億円	1.6%

※維持補修費、積立金、貸付金、繰出金など

性質別歳出の推移（当初予算ベース）



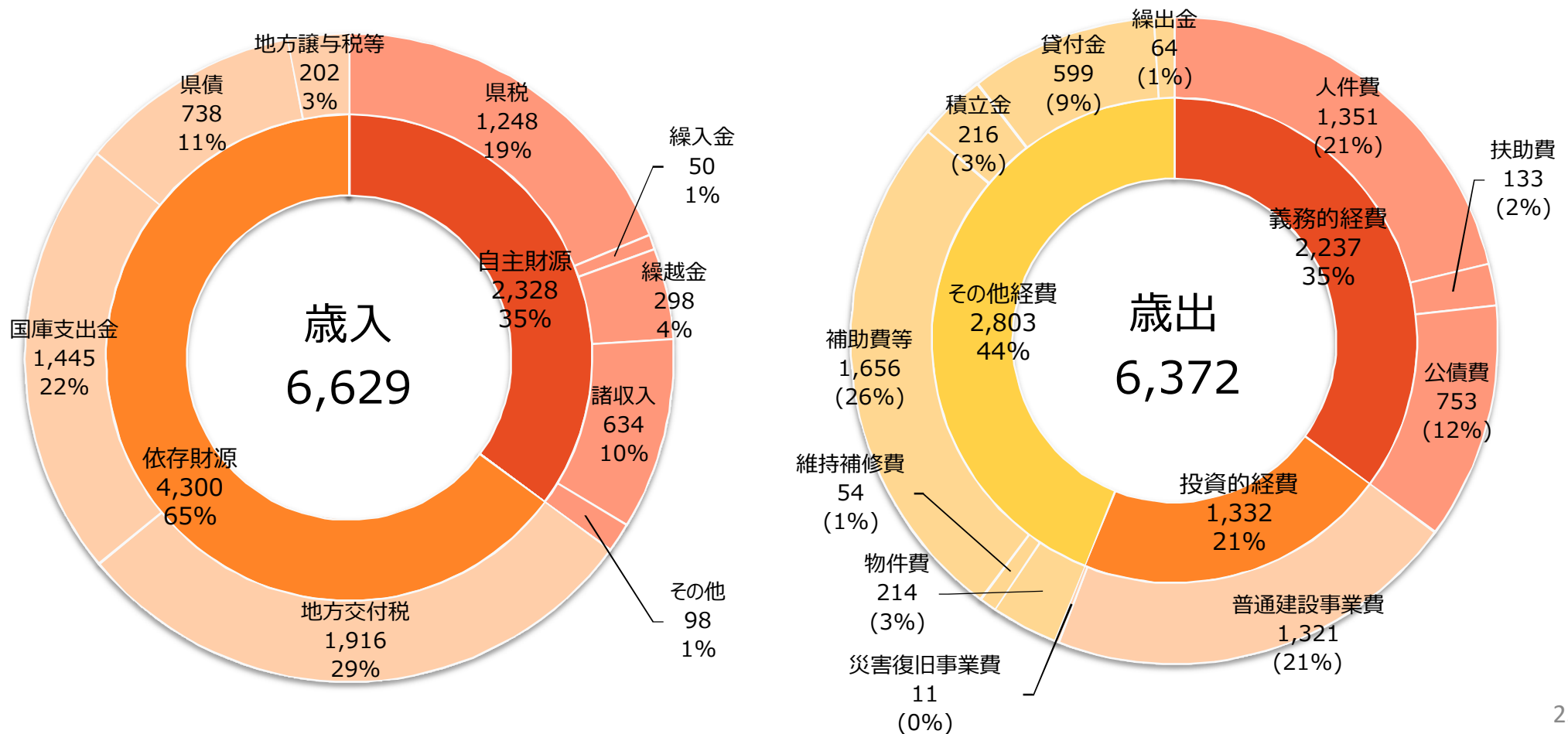
令和4年度普通会計決算の概要

- 決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて減少しました。
- 実質収支・実質単年度収支はともに黒字となりました。

項目	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	対前年度増減
収 支 (億円)						
歳入総額	5,399	5,485	6,484	6,734	6,629	▲ 105
歳出総額	5,270	5,359	6,267	6,436	6,372	▲ 63
歳入歳出差引	129	126	217	298	257	▲ 41
翌年度への繰越財源	94	59	78	184	75	▲ 109
実質収支	35	67	139	114	181	+67
実質単年度収支	5	40	102	108	83	▲ 25
残 高 (億円)						
県債残高【一般会計】	10,183	10,314	10,488	10,587	10,622	+35
うち、臨時財政対策債	3,762	3,728	3,671	3,628	3,369	▲ 259
うち、臨時財政対策債除き	6,421	6,587	6,817	6,959	7,253	+294
基金残高	743	725	671	725	892	+167
うち、財政調整・減債基金	219	209	209	209	224	+15
指 標						
標準財政規模(億円)	2,963	2,937	2,987	3,139	3,056	▲ 83
財力指数	0.328	0.333	0.338	0.323	0.318	▲ 0.005
経常収支比率 (%)	93.1	94.8	95.2	86.9	93.0	6.1
健全化判断比率 (%)						
実質赤字比率	—	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	—
実質公債費比率	7.8	7.5	7.6	7.7	8.4	0.7
将来負担比率	197.5	203.6	204.5	194.6	200.1	5.5

令和4年度普通会計決算の概要

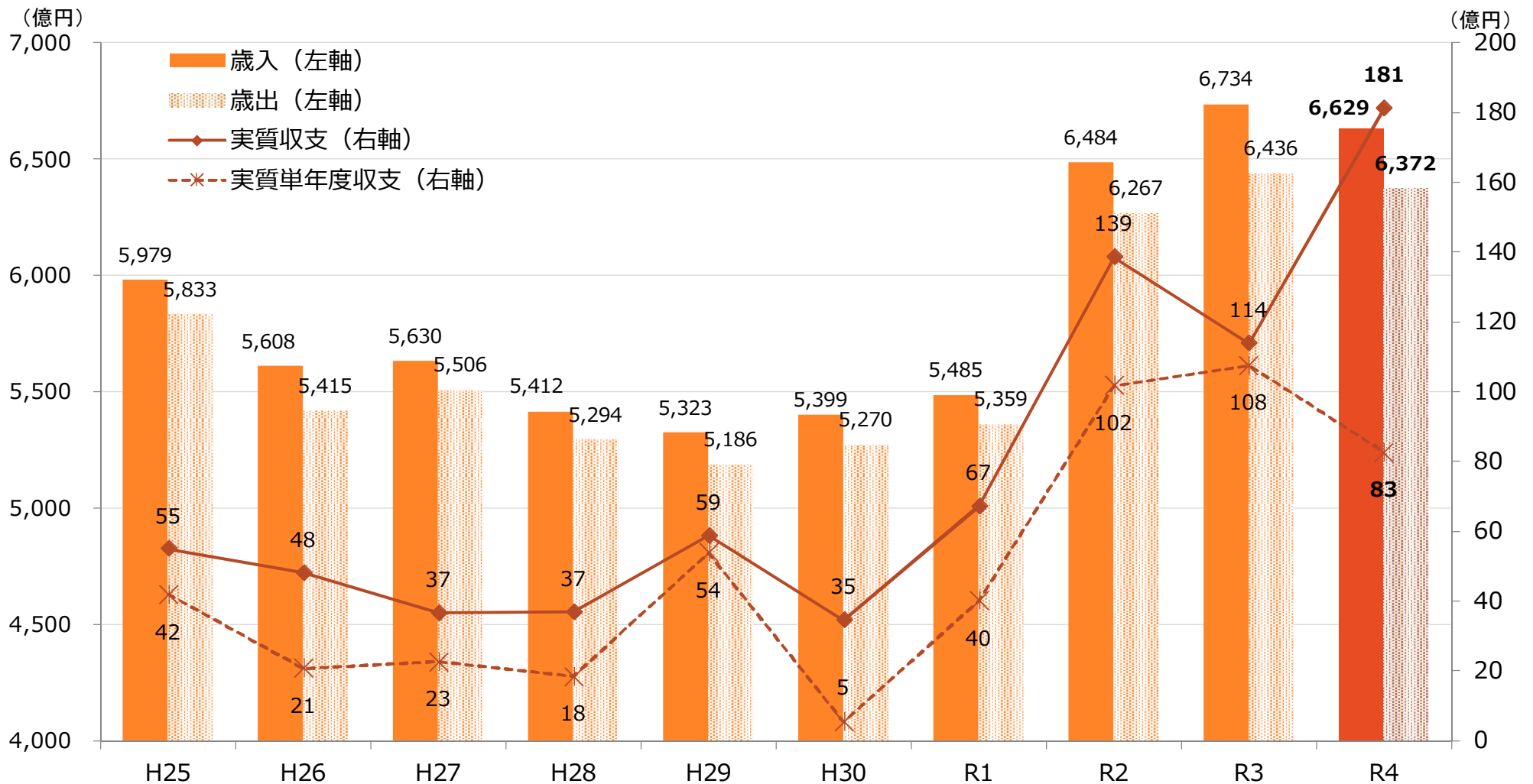
- 決算規模は、歳入6,629億円、歳出6,372億円となりました。
- 歳入については、地方交付税や臨時財政対策債等の減少により、前年度と比べて105億円減少しました。
- また、歳出についても、防災・減災、国土強靱化の推進に係る投資的経費の減少等により、前年度と比べて63億円減少しました。



普通会計決算の推移

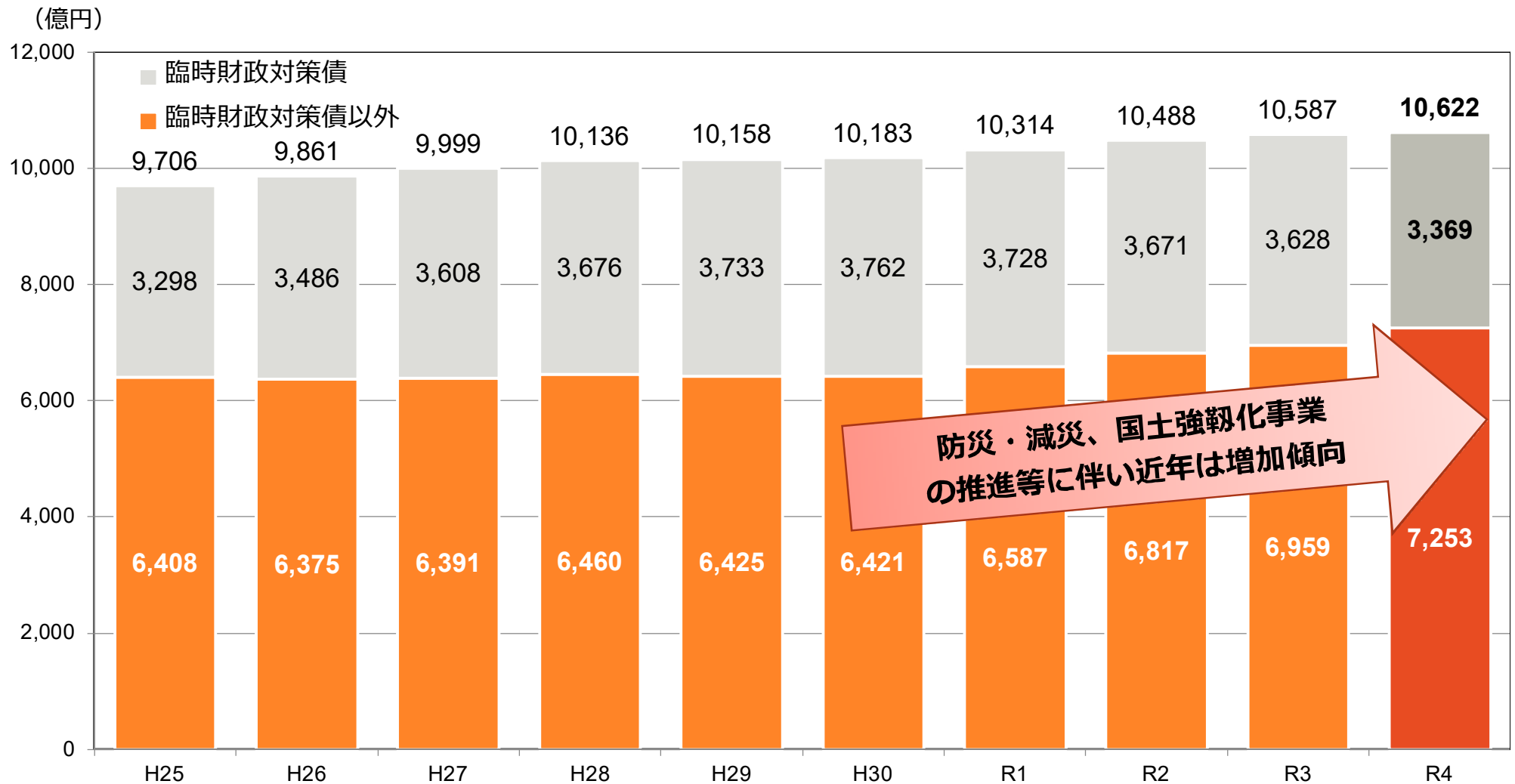
■ 令和4年度の実質収支は181億円、実質単年度収支は83億円の黒字となりました。

※ 実質収支及び実質単年度収支の一部には、決算の確定により歳入超過となった新型コロナウイルス感染症対策関連経費に係る国庫支出金が含まれており、今後国に返納する必要があります。



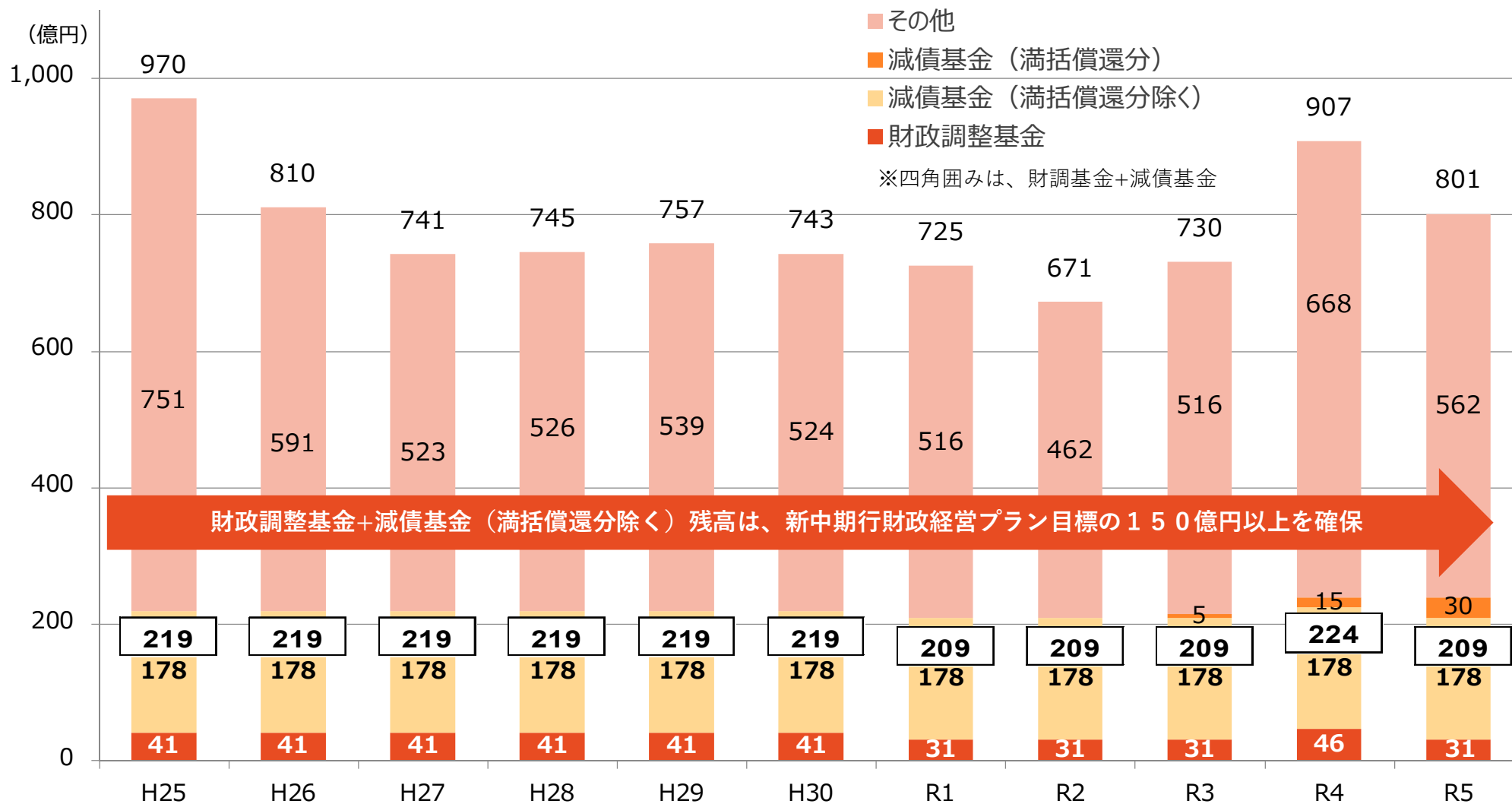
県債残高の推移（一般会計）

- 一般会計における臨時財政対策債除きの県債残高は、令和4年度末で7,253億円となっています。
- 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進等に伴う公共事業の増加等に伴い、前年度末より294億円増加しました。



基金残高の推移

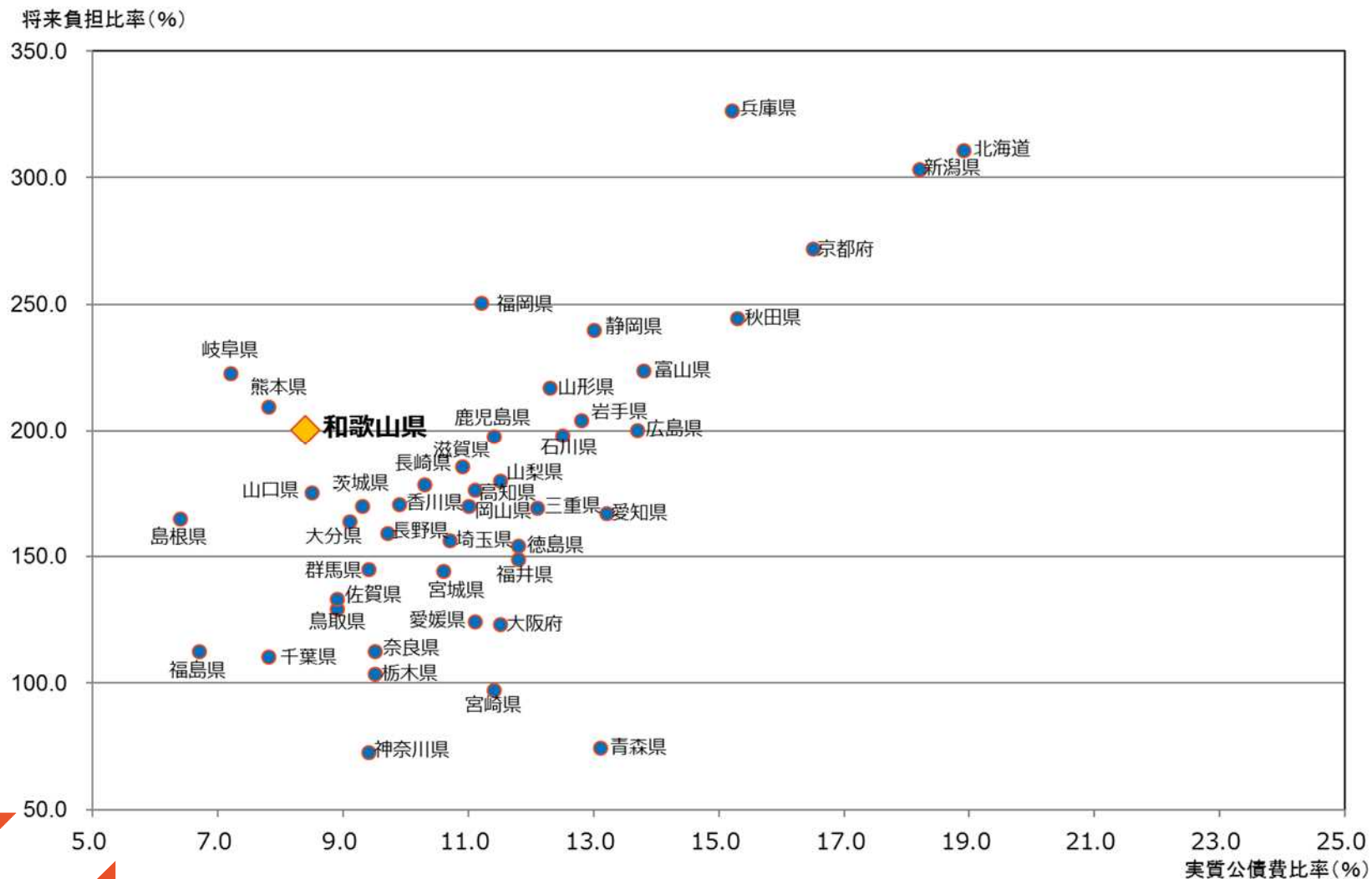
- 財政調整基金と減債基金の残高合計は、令和4年度決算において224億円、令和5年度当初予算においても209億円となる見込みとなっています。
- 新中期行財政経営プラン（R4～R8）における残高目標150億円を上回る額を確保する見込みです。



※R5は当初予算額による見込み

令和4年度健全化判断比率（速報値）の状況

- 令和4年度の実質公債費比率は8.4%（全国8位）、将来負担比率は200.1%（全国34位）となりました。
- いずれも財政健全化計画の策定が義務付けられる早期健全化基準を下回っています。



令和4年度公営企業会計（法適用）の決算概要

■ 健全化法上の資金不足比率について、資金不足は発生していません。

(百万円)

事業名	概要	収益的収支			資本的収支			資金不足比率 (健全化法上)
		事業収益	事業費用	収支差引	資本収入	資本費用	収支差引(※)	
病院	精神保健福祉法第19条の7に基づき、県立こころの医療センター（300床）を設置、運営 ・R4年度年延べ入院患者数：55,575人 年延べ外来患者数：24,236人	2,303	2,094	208	589	624	▲ 35	—
工業用水道	紀の川及び有田川を水源として利用し、和歌山市、海南市、有田市の事業者へ工業用水を供給 ・R4年度年間給水量：56,079千m ³	739	650	89	571	914	▲ 342	—
土地造成	企業誘致推進のため、和歌山市（雑賀崎・西浜工業団地）、御坊市（日高港・御坊工業団地）にある企業用地の分譲を推進 ・R4年度土地売却実績：21,069m ²	459	212	247	1,865	2,311	▲ 445	—
流域下水道	紀の川流域の自然環境の保全や生活環境の改善のため、紀の川（伊都処理区）・紀の川中流（那賀処理区）流域において流域下水道事業を実施 ・R4年度年間総処理水量：7,147千m ³	2,540	2,538	2	1,133	1,133	0	—

※資本的収支の不足額は、内部留保資金等で補てんしています。

令和5年度補正予算の状況（9月補正時点）

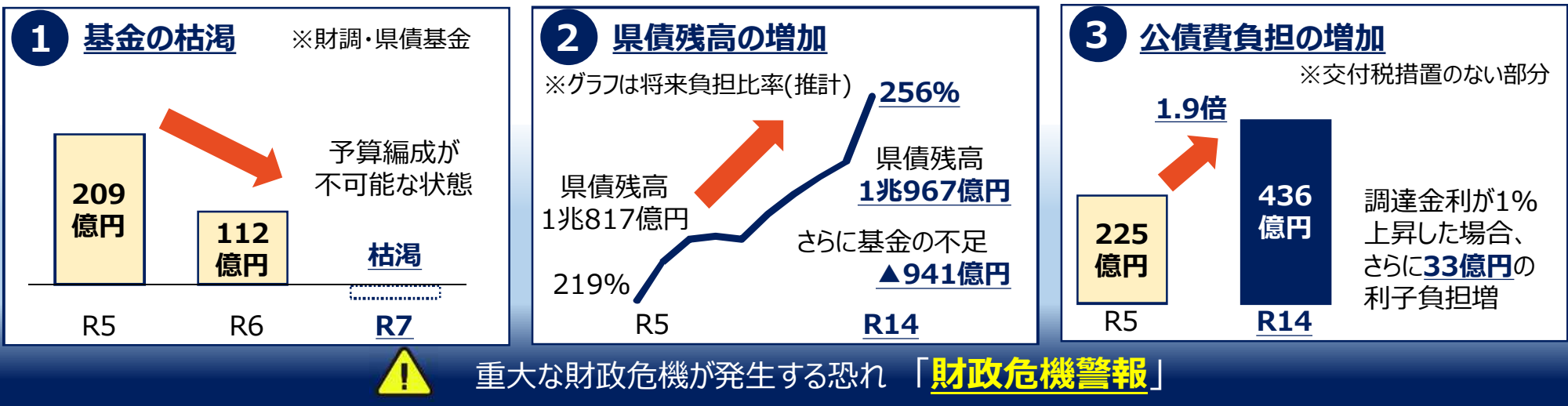
- 令和5年度補正予算では、9月補正予算までに413億円の増額補正を行い、うち物価高騰対応として66億円、令和5年度に発生した台風2号及び7号に係る災害対応として223億円を増額補正しています。
- これらの財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金などを活用しており、財政調整基金の取崩しは7億円となっています。

(億円)

令和5年度補正予算	6月補正	6月補正 (追加)	9月補正	合計
補正額（歳出）	59	141	213	413
うち物価高騰対応	58	-	8	66
うち災害対応	0	141	83	223
補正額（歳入）	59	141	213	413
国庫支出金（コロナ臨時交付金含む）	59	58	115	232
地方交付税	-	-	16	16
その他（県債、分負担金等）	0	76	83	158
財政調整基金取崩し	0	7	-	7

「財政危機警報」の発出

- 足下の物価高騰・金利上昇、高齢化の進展等を受け、何ら対策を講じなかった場合、公債費等の財政指標は悪化を続け、**令和7年度には財政調整基金及び県債管理基金が底を尽き**、予算編成が困難となる見込み。
- 本県は近年、公共事業を積極的に推進してきた結果、県内のインフラ整備や防災・減災対策が大きく進展。他方、県債の借入による**後年度の財政負担についても顕在化**。
- 迫りくる財政危機に待たなしで対応する必要があるため、「**財政危機警報**」を発出。
- 令和5年度を「**財政見直し元年**」と位置付け、公債費償還財源確保スキームを用いつつ、予算を賢くやりくりしていくことで持続可能な財政構造への転換を行っていく。



R4年度（2月補正）

後年度の公債費負担軽減措置

公債費臨時対策基金の設置 (83.5億円)
借換債の発行抑制 (62.0億円)

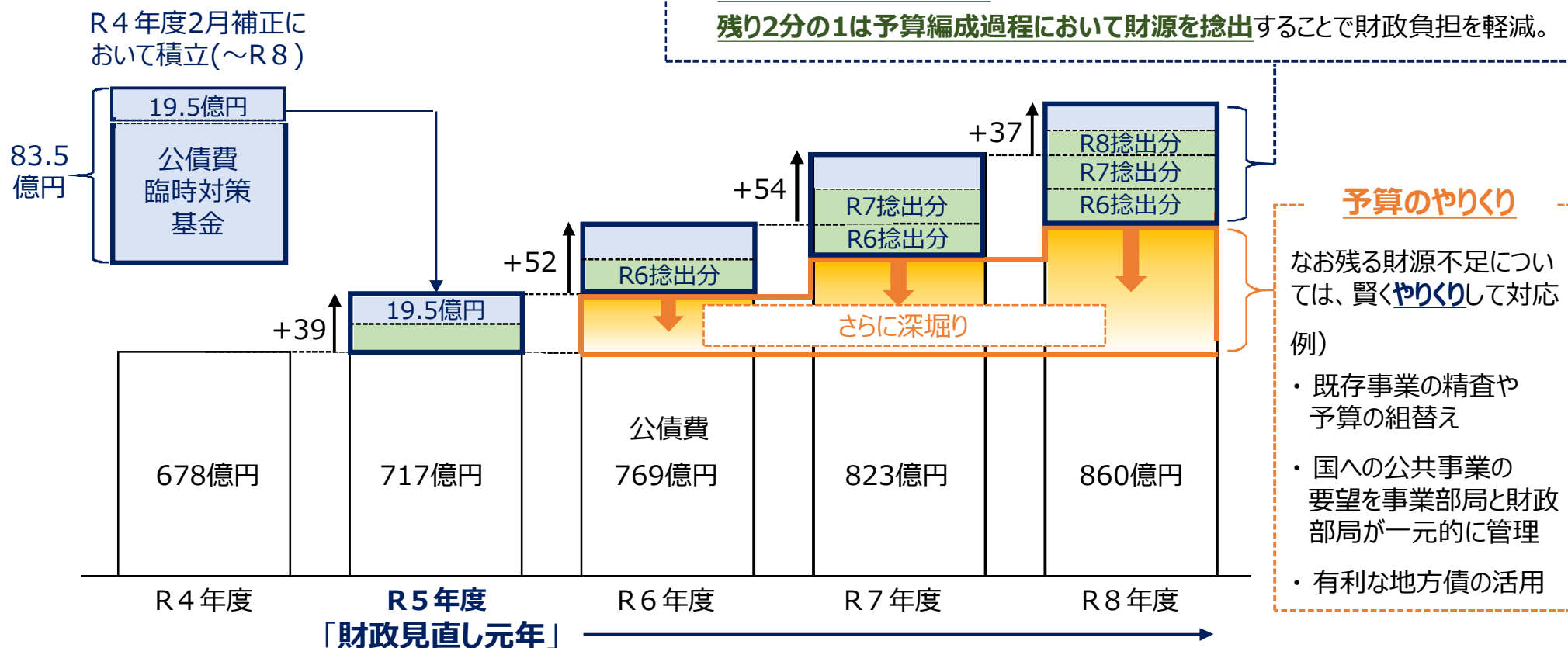


公債費償還財源確保スキーム

- 公債費臨時対策基金を活用した「公債費償還財源確保スキーム」において、毎年の公債費増加分の財源を捻出。
- さらに、予算を賢くやりくりすることで財政の持続可能性を確保しつつ、新たな財政需要にも対応していく。

公債費償還財源確保スキーム

公債費増加分の2分の1に相当する額を公債費臨時対策基金から取り崩す。
残り2分の1は予算編成過程において財源を捻出することで財政負担を軽減。



(参考) 令和4年度～令和14年度の公債費の推移

(単位:億円)

	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算	令和6年度 見込額	令和7年度 見込額	令和8年度 見込額	令和9年度 見込額	令和10年度 見込額	令和11年度 見込額	令和12年度 見込額	令和13年度 見込額	令和14年度 見込額
公債費	678	717	769	823	860	876	875	886	878	881	894
		+39	+52	+54	+37	+16	▲1	+11	▲8	+3	+13

市場公募債発行計画

4

市場公募債の発行計画

- 令和5年度は、100億円の市場公募債を発行する予定です。
- 来年度以降も、年1回の発行を視野に継続的に発行していく予定です。

発行額 **100億円**

年限 **10年（満期一括償還）**

発行日 **令和5年11月30日（水）**

発行方式 **シンジケート団引受方式**

令和5年度引受シンジケート団

銀行団	シェア (%)	備考
株式会社紀陽銀行	23.0	代表幹事
株式会社みずほ銀行	22.0	副幹事
きのくに信用金庫	3.0	
株式会社三井住友銀行	1.0	
株式会社三菱UFJ銀行	1.0	
銀行団合計	50.0	

証券団	シェア (%)	備考
野村證券株式会社	9.0	証券幹事
SMBC日興証券株式会社	9.0	
大和証券株式会社	9.0	
みずほ証券株式会社	9.0	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	9.0	
岡三証券株式会社	2.0	
東海東京証券株式会社	2.0	
岩井コスモ証券株式会社	1.0	
証券団合計	50.0	

問い合わせ先

和歌山県 総務部 総務管理局 財政課 企画班
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電話 : 073-441-2161
F A X : 073-422-8384
E-mail : e0104001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

財政・県債に関する情報

和歌山県ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010400/index.html>

【MEMO】



和歌山県

Wakayama Prefecture